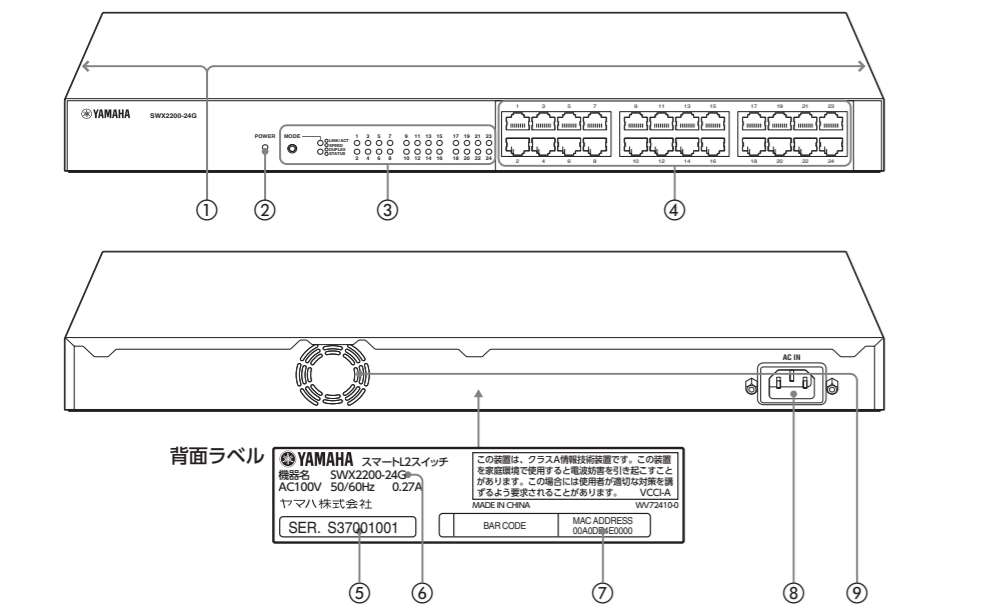
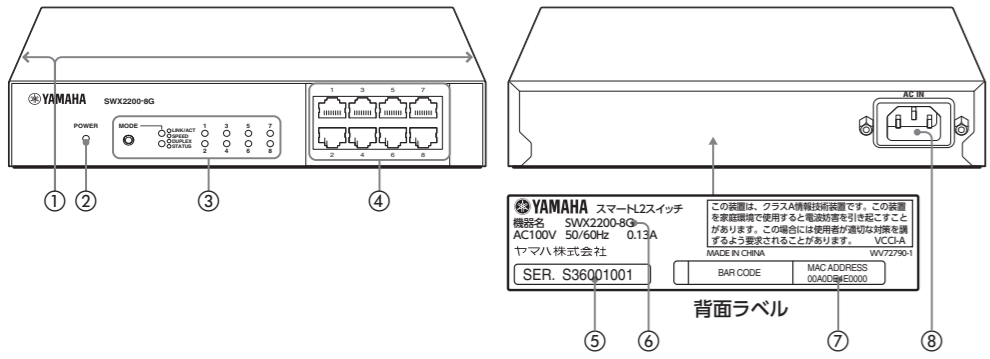


各部の名称とはたらき

SWX2200-24G



SWX2200-8G



① 通風口(両側面)

内部の熱を逃がすための穴です。

② POWERランプ

本製品が通電時に点灯します。

③ MODEボタンとランプ

MODEボタンで選んだ表示内容について、ポートごとのランプでポートの状態を示します。ボタンを押すごとに、モード表示ランプの点灯と表示内容が以下の順に切り換わります。それぞれのモードで、ポートの状態を示すランプは以下のように点灯します。

LINK/ACT (MODE表示ランプ上側が緑色で点灯)

各ポートのリンク状態を表示します。

- 緑色で点灯：リンク確立状態です。
- 緑色で点滅：データ転送中です。
- 消灯：リンク喪失状態です。

SPEED (MODE表示ランプ上側が橙色で点灯)

各ポートの接続速度を表示します。

- 緑色で点灯：1000BASE-Tで接続しています。
- 橙色で点灯：100BASE-TXで接続しています。
- 消灯：10BASE-Tで接続しています。

DUPLEX (MODE表示ランプ下側が緑色で点灯)

各ポートの接続状態(全二重/半二重)を表示します。

- 緑色で点灯：全二重で接続しています。
- 橙色で点灯：半二重で接続しています。

STATUS (MODE表示ランプ下側が橙色で点灯)

各ポートの状態を示します。

- 橙色で点灯：ループを検出しました。
- 橙色で点滅：ループを検出し、通信を遮断しました。

【ご注意】

SWX2200-24Gでファンの故障を検知した場合は、MODE表示ランプ下側が橙色で点滅します。

④ LANポート

ネットワーク機器のLANポートとLANケーブルで接続します。

⑤ シリアル番号

製品を管理/区分するための製造番号です。

⑥ 機器名

本製品の機器名が記載されています。

⑦ MACアドレス

本製品の機器固有のネットワーク識別番号が記載されています。

⑧ AC IN端子

付属の電源ケーブルを接続します。

⑨ ファン(SWX2200-24Gのみ)

空気を循環させ、内部温度を調節します。

準備する

準備を始める前にご用意ください

LANケーブル

接続するネットワーク機器/ネットワーク構成に合わせて、10BASE-Tまたは100BASE-TX、1000BASE-T対応のLANケーブルをご用意ください。

ヤマハルーター

対応するルーターとプログラムのリビジョンは、Webサイト(<http://jp.yamaha.com/products/network/> <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)をご覧ください。

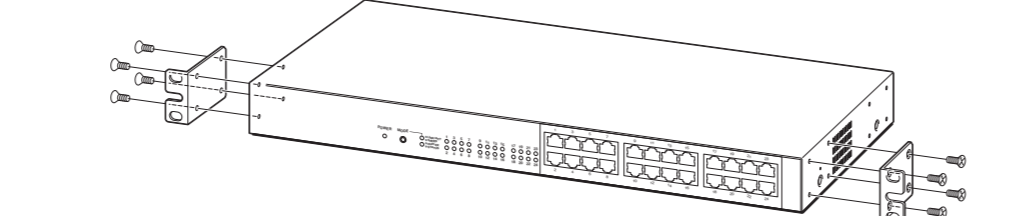
パソコン

ヤマハルーターの設定画面を使用するには、Webブラウザが必要です。また、パソコンのみで、SWX設定ツールを使用することもできます。

推奨Webブラウザについては、下記Webサイトをご覧ください。
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/FAQ/gui/browser.html>

19インチラックに設置する

SWX2200-24Gは19インチラックマウント1Uサイズに適合します。19インチラックに組み込む場合には、付属のラックマウント用金具(2個)を付属のネジ(8本)を使用して固定します。



- 金具1個あたり1本ずつネジ4本を取り付け、確実に固定します。
- 金具はラックに対して本体前面(コネクタ面)が前になる向きにも後ろになる向きにも取り付けられます。
- 19インチラックへの取り付けネジは添付しておりません。

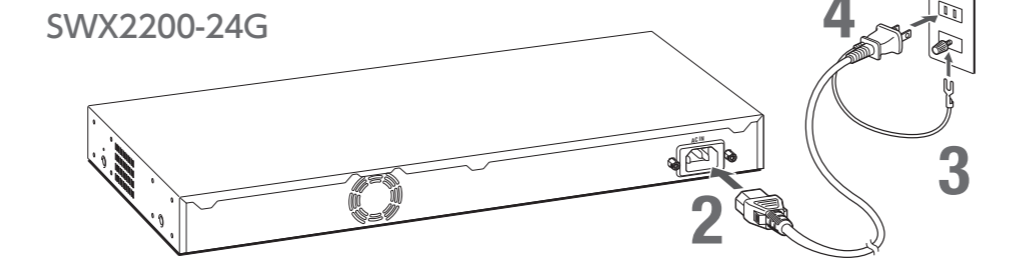
【ご注意】

- ラック本体に扉がある場合には、本体を組み込んで通信ケーブルや電源ケーブルを配線したあとにぶつかることがないように十分注意してください。
- 本体に金具を取り付ける際は、プラスドライバーで金具1個あたりネジ4本を取り付け、確実に固定します。
- 付属のラックマウント用金具ネジ以外は絶対に使用しないでください。

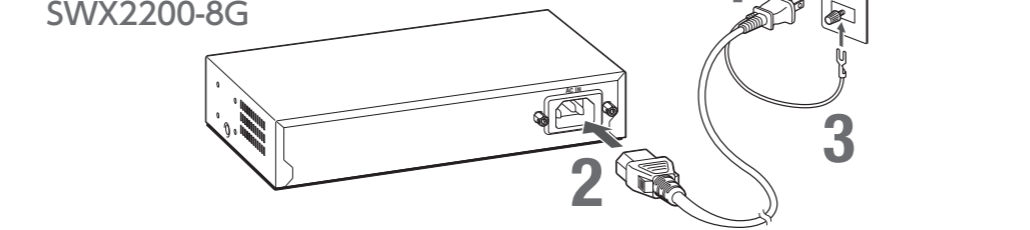
メモ

SWX2200-8Gをラックに取り付けるには、弊社別売のマウントキットを使用します。詳しくは、Webサイト(<http://jp.yamaha.com/products/network/> <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)をご覧ください。

接続する



SWX2200-8G



1 ネットワーク機器のLANポートと本製品のLANポートを、LANケーブルで接続する。

2 電源ケーブルをAC IN端子に接続する。

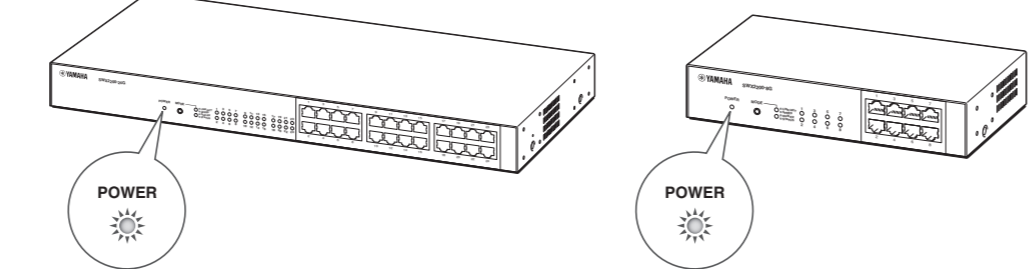
メモ
電源ケーブルの不意の脱落を防止するために、付属の電源ケーブル抜け防止金具を取り付けることをおすすめします。付属の電源ケーブル接続前に金具を本体側の穴に差し込み、電源ケーブル接続後に金具を押し下げて固定します。

3 アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。

【ご注意】
アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

4 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する。

POWERランプが点灯します。



5 本製品に接続したネットワーク機器の電源を入れる。

ネットワーク機器を接続したポートのランプが点灯または点滅すれば正常です。

● ランプが点灯または点滅しない場合は

LANケーブルが正しく接続されているかどうか、接続したネットワーク機器の電源が入っているかどうか確認してください。

本製品の設定を変更する

ヤマハルーターの設定画面から設定を変更する

ヤマハルーターと接続して、本製品の以下の設定を変更できます。

メモ

ヤマハファイアウォールの設定画面から設定を変更することもできます。ここでは、ヤマハルーターを例に説明します。

ポート毎の設定・表示

以下の設定項目について、現在の設定を確認/変更します。

- 速度
- シャットダウン
- カウンタ
- ストレート/クロス自動判別
- フロー制御
- ポートミラーリング

ネットワーク構成表示

本製品の所属するネットワーク構成をツリー表示で確認します。

VLAN

ヤマハルーターとSWX2200のVLANの一括設定や管理を行います。

省電力機能

本製品の省電力動作を入/切します。

ループ検出

ネットワーク上のループの発生を検出します。

ホスト検索

ネットワーク上のホストを検索できます。

リスタート

本製品を再起動します。

上記の機能以外にも、ヤマハルーターのSNMPを経由したSWX2200の状態管理や、ヤマハルーターによるSWX2200の設定書き換え、ヤマハルーターのLuaスクリプトを利用した任意の条件によるスイッチ制御などを利用できます。

設定を変更する

本製品の設定の変更は、ヤマハルーターに接続したパソコンのWebブラウザからヤマハルーターの設定画面を開いて行います。設定画面を開くには、以下の手順で操作します。ここでは、RTX1200の設定画面を例に説明します。

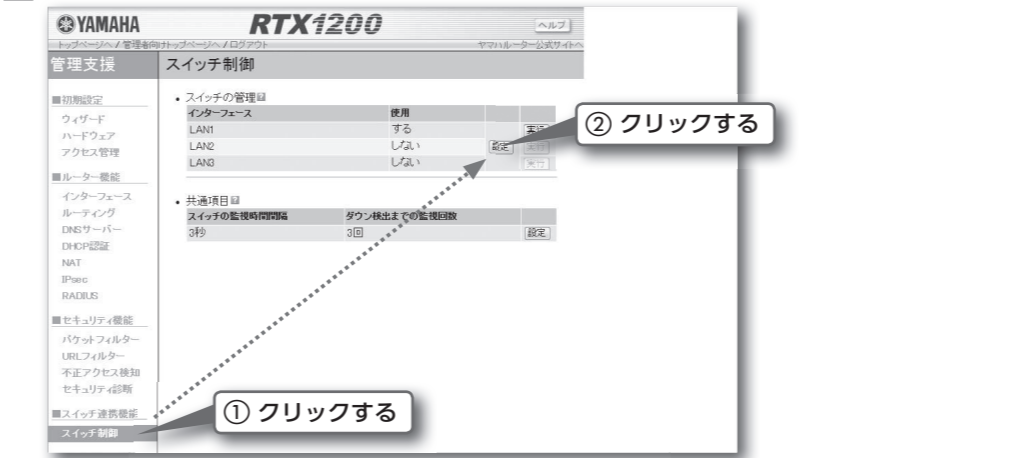
メモ

ヤマハルーターのコンソール画面からコマンドを入力して、設定画面よりも詳細な設定を行うことができます。詳しくは、Webサイト(<http://jp.yamaha.com/products/network/> <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)をご覧ください。

1 ヤマハルーターの管理者向け設定画面のトップページを開く。

- 本製品の電源を入れて、ヤマハルーターのLANポートとLANケーブルで接続します。
- パソコンでWebブラウザを起動して、「ファイル」メニューから「開く」を選びます。
- [http:// (ヤマハルーターのIPアドレス)]と半角英字で入力してから、「OK」をクリックします。
- 「管理者向けトップページへ」をクリックします。

2 画面左側の「スイッチ制御」をクリックしてから、「スイッチの管理」欄の「設定」をクリックする。



3 本製品を接続したLANインターフェース欄の「使用する」を選んでから、「確認」をクリックする。確認画面が表示されます。

4 「登録」をクリックしてから、「メイン画面に戻る」をクリックする。

5 本製品を接続したLANインターフェースの「実行」をクリックする。別画面が開き、選んだLANインターフェースに接続されているSWXシリーズがツリー表示されます。

6 設定対象となるSWXの設定画面を開き、設定を変更する。設定対象となるSWXをダブルクリックしてアイコンを拡大表示します。

- SWXシリーズの機器の設定を変更する場合**: 拡大表示されたアイコンの筐体部分をクリックして設定画面を開きます。
 - SWXシリーズの任意のポートの設定を変更する場合**: 拡大表示されたアイコンのポート部分をクリックして設定画面を開きます。
- 詳しくは、Webサイト(<http://jp.yamaha.com/products/network/> <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)をご覧ください。

SWX設定ツールでパソコンから設定を変更する

SWX設定ツールをインストールしたパソコンで、本製品の設定を直接変更することもできます。SWX設定ツールは、Webサイトからダウンロードできます。ダウンロード方法および設定方法について詳しくは、Webサイト(<http://jp.yamaha.com/products/network/> <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)をご覧ください。

本製品の設定を初期化する

MODEボタンを押したまま本製品の電源ケーブルをコンセントに接続すると、本製品の設定を初期化できます。

主な仕様

SWX2200-8G

外形寸法(幅 x 高さ(脚部を含む) x 奥行き(突起物を除く))：
220mm x 44mm x 118mm

質量：
本体：950g (付属品含まず)

電源：
AC100V (50/60Hz)

消費電力：
最大 7W

動作環境条件：
周囲温度 0 ～ 40℃ 周囲湿度 15 ～ 80% (結露しないこと)

保管環境条件：
周囲温度 -20 ～ 50℃ 周囲湿度 10 ～ 90% (結露しないこと)

電波障害規格：
VCCI クラスA

LANインターフェース：
イーサネット(RJ-45) 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
ストレート/クロス自動判別

表示機能(LED)：

前面：POWER、MODE、(LINK/ACT、SPEED、DUPLEX、STATUS) x 8
LINK/ACT、SPEED、DUPLEX、STATUSは、MODEボタンにより切替

SWX2200-24G

外形寸法(幅 x 高さ(脚部を含む) x 奥行き(突起物を除く))：
445mm x 44mm x 200mm

質量：
本体：2.7kg (付属品含まず)

電源：
AC100V (50/60Hz)

消費電力：
最大 27W

動作環境条件：
周囲温度 0 ～ 40℃ 周囲湿度 15 ～ 80% (結露しないこと)

保管環境条件：
周囲温度 -20 ～ 50℃ 周囲湿度 10 ～ 90% (結露しないこと)

電波障害規格：
VCCI クラスA

LANインターフェース：
イーサネット(RJ-45) 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
ストレート/クロス自動判別

表示機能(LED)：

前面：POWER、MODE、(LINK/ACT、SPEED、DUPLEX、STATUS) x 24
LINK/ACT、SPEED、DUPLEX、STATUSは、MODEボタンにより切替